

QSK 福精連



公益社団法人福岡県精神保健福祉会連合会 〒812-0046

福岡県福岡市博多区吉塚本町13-50
電話092-292-0560 FAX092-292-0561e-mail:fksr1974@fukuseiren.com
ホームページ http://www.fukuseiren.com/
No. 112 令和5年1月1日

新年挨拶

公益社団法人
福岡県精神保健福祉会連合会
会長 一本 猛

あけましておめでとうございます。
三年前から新型コロナウイルスの流行が発端となり、仕事の仕方や業務形態に大きな影響を受けています。一方で、ワクチンの接種が進み、緊急事態宣言が終わるなど、わずかがら明るい兆しもあります。このような状況下、昨年から福精連活動も少しづつコロナ前の状況に近づけるよう様々な活動を元に戻すよう取り組んでいます。

さらにもう完全なる終息が見えない中、昨年は円安物価高となり、日本のみならず世界を取り巻く経済環境にも大きな影響を受けています。一方で、ワクチンの接種が進み、緊急事態宣言が終わるなど、わずかがら明るい兆しもあります。このような状況下、昨年から福精連活動も少しづつコロナ前の状況に近づけるよう様々な活動を元に戻すよう取り組んでいます。

さらにまだ完全なる終息が見えない中、昨年は円安物価高となり、日本のみならず世界を取り巻く経済環境にも大きな影響を受けています。一方で、ワクチンの接種が進み、緊急事態宣言が終わるなど、わずかがら明るい兆しもあります。このような状況下、昨年から福精連活動も少しづつコロナ前の状況に近づけるよう様々な活動を元に戻すよう取り組んでいます。

今後の活動の重要な課題は医療費助成制度の改善です。先進的な都道府県に近づけるよう取組んで参ります。また、JRや高速料金についても引き続き、私共、精神障がい者等の福祉サービスの観点ではまだ道遠い印象が拭えません。

これからもご支援、ご協力を賜りますよう宜しくお願い致します。

拡大会議（R4年10月20日）



年度の中間報告を意味する拡大会議に39名（会場28名・ZOOM11名）の参加を頂きました。

1. 報告事項：J九州・九州運輸局、県との要望協議

3年ぶりに県との対面協議が実現するも各項目前向きな回答は得られませんでした。（詳細については次号に掲載いたします。）引き続き意見交換の場を設けて頂き、強く要望し続けます。

2. 事業所部会報告：事業所部会上氏より

①障害者権利条約対日審査を受けて

現在の日本の精神科医療は、世界的に見て異常であることが多数勧告（指摘）されました。今後の法改正に期待です。

②通過型グループホームについて

政策案では、利用期間を決めグループホームを利用する 通過型のグループホームが検討されています。

参加者からは期間が終了したらどうなるの？といった不安な声、心配する声も多く聞かれました。グループホームは居住提供だけの場ではなく居住支援として大事な役割を果たしています。今後の動向に注目していきたいです。

[第23回ヤマト福祉財团小倉昌男賞]
[厚生労働大臣表彰]
[福岡県知事表彰]
[福岡県地域精神保健協議会表彰]

[敬称略・順不同]
久留米はぜの実共同作業所（団体）
藤島 芙美子（すずめのお宿家族会）
石河定子（中央区のぞみ会）
福岡あけぼの会（団体）
宮本政智（福岡あけぼの会）
国房稔代（なみの会）
光益静子（久留米精神障害者地域家族会）
山口由紀子（社会福祉法人ハイジ福祉会理事長）

皆様の長年の活動、活躍に敬意を表します。表彰受賞誠におめでとうございます。

おめでとう！

月間「みんなねっと誌」を購読しませんか？

賛助会員費（購読料を含む）
個人 年間3,600円
※団体は一部還元があるの
でお問い合わせを

郵便振込先
加入者名 みんなねっと
口座番号 00130-0-
338317
電話番号 03-
6907-9211

賛助会員加入のお願い

令和4年度の賛助会員の募集を行います。皆様のご協力よろしくお願い致します。

年会費：個人 3,000円
団体 10,000円
郵便局振込先
加入名：（公社）福精連
口座番号：01760-7-84332



お問い合わせ
お問い合わせ

家族のための相談電話

【相談時間】13時～16時



- ・月曜日 090 (1366) 7498
 - ・火曜日 080 (2750) 0646
 - ・水曜日 080 (3986) 1980
(第4水曜日は0940 (33) 2731)
 - ・木曜日 080 (3986) 1980
 - ・金曜日 080 (1729) 1955
 - ・土・日曜日・祝日 9時～16時
080 (1729) 1955
- 一人で抱えずお電話ください

行事案内

令和4年度 賛助会員つき

一ツ協会

[家族・職員研修会]
令和5年1月19日（木）13時半
会場：吉塚合同庁舎5F
講師：高村裕子氏
「家族相談業務のスキルアップ」

[運営委員会]
令和5年1月19日（木）10時半
会場：吉塚合同庁舎5F
事業所部会主催

[理事会・職員研修会]
令和5年2月10日（金）17時
会場：吉塚合同庁舎5F
事業所部会主催

[理事会]
令和5年3月9日（木）

[理事会]
令和5年3月24日（金）

[理事会]
令和5年3月24日（金）

*新型コロナウイルス感染拡大状況に応じて延期・中止の可能性がございます。

個人会員
田谷原原木河山平原久子口田川本上々石畠木

木
章和享聰久定利実恭照義靖俊ミ由純 雄茂猛
江生 子子博男子道郎則彦ド美治寿二幸
リ 美

富津國齊土川菅宮坂野阿萬馬富松川中松本
さ 忠
島村房藤肥本野本栗澤部 場田岡口里本田
さ 忠
愈秀美穂光浩茂康政つ重利之由義千真國俊
司沙代子 子子智キ信民 紀之代利一寛慧
子

富原篠大伊井小内平西石檜乙神福永廣田兼六
原野原上野原山 田橋村谷田未津川崎反
伸 未
佳美雅葵加曉雄守一好健恭沙眞清雄輝裕誠敏
子 津子史 雄 治一貴幸隆大男二 裕
代

【編集】公益社団法人 福岡県精神保健福祉会連合会 〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50 6F

【発行】QSK九州障害者定期刊行物協会 〒812-0068 福岡市東区社領1丁目12番4号

【年会費】3,000円（購読料含む）定価100円



いつも
ありがとうございます

この機関紙【福精連】は、共同募金の配分金によって作成されたものです。



副会長 楢橋 恭一

(公明党との要望懇談会) つづき
この件は、本年10月7日、に行われた令和4年度決算特別委員会で浜崎県議より、「都市高速道路の料金割引は、身体障がい、知的障がいは対象になつてないのは何故か」との質問に対し、県土整備部長より「精神障がい者への割引は、身体障がい、知的障がいの方々と同様に、全国の高速道路事業者で同一の措置が実施されることが望ましく、都市高速道路については、その運営主体である公社が検討し、国から認可を受けるものなので、経営状況を勘案し判断するものと考えますが、公社にも申し伝えて検討を促してまいります。」との回答をいただき、このたびの知事要請となりました。

要望の内容は、①精神障がい者も三障がい者の適用対象に ②医療費助成の都道府県格差の是正を ③精神の障害年金の改善を ④当事者が地域で安心して暮らせるための多職種訪問支援の仕組みを ⑤障がい者雇用売買ビジネスを抑制・停止する働きかけを の5点をお願いしてまいりました。

「要望を整理すると、居場所作りの推進・活動の三本柱の一つです。今後も要望が実現するまで粘り強く運動してまいります。



あかつき会家族会 福山 一樹

「愛と自立を語ろう」をテーマに掲げ、趣旨説明では、精神障がい者一人ひとりが尊重され、自立して家庭を持ち、地域で安心して社会生活を送ることができる、共生社会の実現に向けた取り組みの、促進を目指してどうたわれています。基調講演では、広島県自立支援協議会会長の石井知行氏が「地域において精神障がい者が安心して暮らせるために」というテーマで講演されました。先生の一言一言に当事者や家族への寄り添いを感じられ、お話を心より共感いたしました。先生は、地域包括ケアシステム構築のために検討会で、保健・医療・福祉体制の充実や諸制度の見直しを提言されています。地域において、その人がその人らしく、少しでも安定した生活ができる制度を設立するためには重要なこと2点がある。

1点目は「当事者を支える家族に対する支援が必要」もう1点は「社会の種々の差別偏見に傷つき、社会的不利益を被っている当事者・家族が安心した地域生活をおくるために、差別偏見を解消するための諸政策が必要である。障害者差別解消法は、一定程度の成果をあげたが、不十分な側面もあり、更に差別解消禁止を発展強化させる必要がある。」と言わされました。

私も子供以外のある当事者との関わりの中で、行政担当者施策の充実を目指してまいりたいと思います。大会ご当地広島の被爆体験者である、八幡照子様の力強いお話を勇気をいただきました。戦争の悲惨さと生命の尊さ、お話を通じて下さり、感謝申しあげます。

事者とともに声にしていき、希望を捨てずに、精神障がい者に対する支援が必要だと思います。私は、差別偏見を解消するためには、差別偏見を解消するための諸政策が必要である。障害者差別解消法は、一定程度の成果をあげたが、不十分な側面もあり、更に差別解消禁止を発展強化させる必要がある。」と言わされました。

高齢化が進み会員数が減っていく家族会が多い中、家族会の基本を改めて気づかされました。先輩方が大切に築いてきた家族会という宝をしっかりと受け継ぎ、これからも楽しく温かく、無くてはならない家族会として活動していく決意を新たにしました。

二日目は、特別研修会「当事者はなぜ親にあたるの?」精神障がい当事者と家族の相互理解プログラムのDVDを会場で視聴しました。その中の「振り返りタイム」では、会場参加者はグループに分かれ、それぞれで振り返りをしました。持ち時間15分ほどでしたが、初めて会った者同士とは思えないほど、たくさんの意見が出でて充実した時間が持てました。

会場が温泉施設で、お料理もおいしく、温泉にもゆったり浸かることができ、至れり尽くせりのこの上なく楽しく有意義で大満足の二日間でした。

福精連理事 隅谷和生



みんなねつと全国大会IN広島

コロナ禍での九州沖縄ブロック大会が11月17日18日に開催されました。3年ぶりに対面交流で開催ということに加え、リモート版での「家族による家族学習会」で大分の家族会の方々と一緒に取り組んできました。

会場に着くと皆さんが温かく迎えてくださり、直接会えた方が昂り、大きな期待を持って参加しました。

基調講演は、みんなねつとの岡田久実子理事長から「みんなが笑顔で元気になる家族会活動とは」と題し、自らの体験を通じ家族会活動で工夫してきたこと、大嬉しさに満たされ、オープニングのオカリナ演奏では、みんな小さな楽器から紡ぎだされる音色の美しさに驚きました。

「大切なことは、家族会は重要な社会資源だと確信を持つ人があきらめないこと」

高齢化が進み会員数が減っていく家族会が多い中、家族会の基本を改めて気づかされました。先輩方が大切に築いてきた家族会という宝をしっかりと受け継ぎ、これからも楽しく温かく、無くてはならない家族会として活動していく決意を新たにしました。

二日目は、特別研修会「当事者はなぜ親にあたるの?」精神障がい当事者と家族の相互理解プログラムのDVDを会場で視聴しました。その中の「振り返りタイム」では、会場参加者はグループに分かれ、それぞれで振り返りをしました。持ち時間15分ほどでしたが、初めて会った者同士とは思えないほど、たくさんの意見が出でて充実した時間が持てました。

会場が温泉施設で、お料理もおいしく、温泉にもゆったり浸かることができ、至れり尽くせりのこの上なく楽しく有意義で大満足の二日間でした。

福精連理事 隅谷和生

みんなねつと九州大会IN大分

コロナ禍での九州沖縄ブロック大会が11月17日18日に開催されました。3年ぶりに対面交流で開催というこ

とに加え、リモート版での「家族による家族学習会」で大分の家族会の方々と一緒に取り組んできました。

会場に着くと皆さんが温かく迎えてくださり、直接会えた方が昂り、大きな期待を持って参加しました。

基調講演は、みんなねつとの岡田久実子理事長から「みんなが笑顔で元気になる家族会活動とは」と題し、自らの体験を通じ家族会活動で工夫してきたこと、大嬉しさに満たされ、オープニングのオカリナ演奏では、みんな小さな楽器から紡ぎだされる音色の美しさに驚きました。

公明党との要望懇談会

去る11月26日、公明党福岡県本部において、毎年開催されている政策要望懇談会が今年も開催され、公明党からは、濱地衆議院議員、森下県議会議員が出席され、福精連からは、一木会長、白石副会長、福田副会長、楳橋が出席して要望意見を述べてまいりました。

冒頭、一木会長から森下・浜崎両県議のご尽力で、福岡・北九州高速道路公社に対し県知事から精神障がい者にも都市高速道路の料金割引実施を検討するよう要請していただいたことに御礼を申し上げました。

冒頭、一木会長から森下・浜崎両県議のご尽力で、福岡・北九州高速道路公社に対し県知事から精神障がい者にも都市高速道路の料金割引実施を検討するよう要請していただいたことに御礼を申し上げました。

私は平成28年に前会長より引き継ぎ、少ない人数の家族会ですが、助け合い研修会や行政の行事等に参加しています。

私は平成28年に前会長より引き継ぎ、少ない人数の家族会ですが、助け合い研修会や行政の行事等に参加しています。

いとしま会は、糸島地区にある唯一の精神障がい者の家族会です。

平成8年3月29日にいとしま会の総会で承認され、家族会として発足しました。平成10年には、共同作業所「いとしま工芸」を立ち上げ、平成18年まで支援運営になりました。現在作業所の運営は、NPO法人に移っていますが、地域での精神保健福祉事業に積極的に参加しています。

月1回の定例会は、家族同士の話し合いの場であり、お互いの悩みや思いを、心を開いて語り合い、日々当社との対応の中でも生まれる悩みや、葛藤について、様々な角度からの意見や体験を伝え、学び合い、そして励まし合う大事な時間です。しかし、コロナ禍で、集まつて開催できない時には、電話で声を聞き、仲間同士の繋がりを大事にしています。

私は平成28年に前会長より引き継ぎ、少ない人数の家族会ですが、助け合い研修会や行政の行事等に参加しています。

コロナ禍にて書面対応に、例年は講話を次第に盛り込み、家族会にとつて大切なテーマ、欠かせない課題として多くの事を学んでいます。先日の福精連大会では、家族会でZOOM参加しました。高森先生の講話には皆さん感動して元気を頂き、心新たな気持ちになる事ができました。

現在、家族会の当事者さんが4名グループホームで暮らしています。私の長男もコロナ禍の中で、グループホームに入居することができます。発症から長男に寄り添い歩き続けてきた26年間、振り返れば、一番大変な時は幻聴との闘いでした。それでも今は少し落ち着き、グループホームでの自分の生活を保ちながら、仲間と暮らしています。

先日の定例会では家族会の皆さんと一緒に、糸島歴史資料館へ見学へ行き、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。これからも次の世代に引き継ぐために、いとしま会は地域活動支援センターや他の支援団体とも交流を深めながら皆さんと共に歩み続けていきます。

第3回家族・職員研修会

「家族相談業務のスキルアップ」

令和5年1月19日(木)
13時半～15時半
会場：吉塚合同庁舎5F
講師：高村 裕子氏

会場とオンラインの併用です。
参加希望の方は福精連までご連絡ください。fksr1974@fukuseiren.com